

平成27年4月6日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 様
厚生労働副大臣 山本 香苗 様
厚生労働副大臣 永岡 桂子 様
厚生労働大臣政務官 橋本 岳 様
厚生労働大臣政務官 高階 恵美子様

技能実習生としての外国人介護人材受入れにおける
日本語要件と日本語教育に関わる
要 望 書

要望者

住 所：東京都千代田区西神田 2-4-1
東方学会ビル新館2F

団 体：公益社団法人日本語教育学会

会 長：伊東祐郎 印

連絡先：03-3262-4291

要望項目

平成 27 年 2 月 4 日に公表された「外国人介護人材受け入れの在り方に関する検討会 中間まとめ」の日本語要件と日本語教育に関わる内容について、以下を要望します。

- (1) 日本語能力試験の「N 4 程度」とある、受け入れ時の日本語要件は、抜本的に見直す。
- (2) 実習開始後の日本語能力の向上は、本人や施設に任せるのではなく、公的な枠組みで担保する。
- (3) 今後の議論に日本語教育の専門家を加え、専門的な知見を実効性ある制度設計に活かす。

要望理由

- (1) 「必要なコミュニケーション能力の確保」を議題とした第 3 回「検討会」では、実習生受け入れ時の要件は、日本語能力試験で「最低 N 3 が必要」とされました。ところが、「中間まとめ (案)」が審議された第 6 回「検討会」では、「N 4 程度を要件とすることが適当」と基準を大幅に下げた「福間代理提出資料」が配られ、十分な議論もないまま「N 4 程度」との文言が採用されました。

そもそも、日本語能力試験は、専門分野を特定しない一般的な日本語能力を測定する指標で、介護現場に必要な言語能力を測るための最適な尺度ではありませんが、もしそれを使うならば、「N 4 程度」では不十分です。これでは、介護業務に深刻な支障をきたす恐れがあります。

しかし、これは受け入れ時の日本語能力のレベル設定だけの問題ではなく、むしろ現場で必要とされる日本語能力の獲得を目指す受け入れ後の日本語支援のあり方と一体として考える必要があります。それはまた、介護現場のニーズに即した新しい評価尺度が実習開始後の能力評価にどれだけ活用できるかとも密接にかかわります。そうした様々な要素の間関係とバランスに配慮する慎重で専門的な議論を通してのみ、実効性ある制度設計が可能になると思われます。

- (2) EPAによる外国人介護福祉人材の場合、実習開始前に日本語研修が公的に保障されていましたが、実習開始後の日本語学習の枠組みがなく、多くの候補者は困難を強いられました。一方、今回の技能実習制度では、事前の日本語研修も実習開始後の日本語学習の枠組みも「中間まとめ」からは読み取れません。このような状況で、実習期間中に日本語能力が顕著に向上することは期待できません。

EPAに関する日本語教育関係者の調査・研究では、初期の日本語学習から施設での実習期間中までの連続的で体系的な教育が高い効果を上げることが示されています。実習生の日本語能力の向上は、本人と施設側の自助努力に任せるのではなく、体系的なカリキュラムと教材を備えた学習支援プログラムによって公的に担保することが重要です。

- (3) EPA制度開始以来、当学会をはじめとして、介護人材への日本語教育に特化した調査研究や教材開発も進み、その成果はすでに蓄積されています(次ページ添付資料参照)。そうした日本語教育関係者の専門的な知見があつてはじめて、学習の期間・内容・方法などについての妥当性を検証しつつ、学習支援と評価のシステムをトータルに設計できると言えます。

以上

資料：外国人介護福祉士に対する日本語教育に関わる研究・調査・教材のリスト

I 報告書

- ・日本語教育学会 看護と介護のワーキンググループ (2012) 『看護と介護の日本語教育ワーキンググループ最終報告書』日本語教育学会、全 49 ページ

II 論文

- ・石井容子・登里民子 (2010) 「インドネシア人介護福祉士候補者を対象とする就労開始前日本語研修における口頭能力評価の試み」『専門日本語教育研究』第 12 号 pp. 35-40
- ・上野美香 (2013) 「介護施設におけるインドネシア人候補者の日本語をめぐる諸問題—日本人介護職員の視点からの分析と課題提起—」『日本語教育』156 号、pp. 1-15
- ・遠藤織枝 (2012) 「介護現場のことばのわかりにくさ—外国人介護従事者にとってのことばの問題」『介護福祉学』19-1、pp. 94-100、日本介護福祉学会
- ・大関由貴・遠藤郁絵 (2012) 「学習者から学ぶ『自律的な学び』とその支援—漢字の一斉授業における取り組みから—」『日本語教育』152 号、pp. 61-75
- ・大関由貴・奥村匡子・神吉宇一 (2015) 「外国人受け入れ・社会統合・介護人材・経済連携協定・日本語教育研究—経済連携協定による来日者を対象とした研究を中心に—」『国際フォーラム』Vol. 25、pp. 239-280、神奈川大学
- ・布尾勝一郎 (2012) 「言語政策的観点から見た EPA 看護師・介護福祉士候補者受け入れの問題点—国家試験に関する有識者検討会をめぐって—」『社会言語学』XII pp. 53-71
- ・登里民子 (2010) 「『ケア大国』への日本語支援—インドネシア人介護福祉士候補者フォローアップ日本語研修の現場より—」『日本語学』2010 年 8 月号、pp. 100-111
- ・登里民子・石井容子・今井寿枝・栗原幸則 (2010) 「インドネシア人介護福祉士候補者を対象とする日本語研修のコースデザイン—医療・看護・介護分野の専門日本語教育と、関西国際センターの教育理念との関係において—」『国際交流基金日本語教育紀要』第 6 号、pp. 41-56
- ・登里民子・山本晃彦・鈴木恵理・森美紀・齊藤智子・松島幸男・青沼国夫・飯澤 展明 (2014) 「経済連携協定 (EPA) に基づくインドネシア人・フィリピン人看護師・介護福祉士候補者を対象とする日本語予備教育事業の成果と展望」『国際交流基金日本語教育紀要』第 10 号、pp. 55-69
- ・水野かほる (2010) 「ベトナム人看護師候補者・介護福祉士候補者に対する日本語教育の課題」『国際関係・比較文化研究』9(1)、pp. 97-110

III 口頭発表

- ・石井容子 (2010) 「介護福祉士候補者着任前日本語研修のための専門語彙教材の開発」『2010 年度日本語教育学会春季大会予稿集』pp. 357-358
- ・大場美和子 (2014) 「介護技術講習会における介護演習の談話の特徴と問題の分析—EPA 介護福祉士候補者の談話データを対象に—」『2014 年度日本語教育学会春季大会予稿集』pp. 91-96
- ・岡田朋美 (2013) 「EPA 介護福祉士候補者学習支援で求められるもの—ホームヘルパー資格取得を通しての一考察—」『2013 年度日本語教育学会春季大会予稿集』pp. 297-298
- ・神村初美・藤本かおる・林香淑・西郡仁朗 (2010) 「EPA によるインドネシア人介護福祉士候補生のための自学自習漢字音声教材の開発と試用からの考察」『2010 年度日本語教育学会秋季大会予稿集』pp. 305-306
- ・神吉宇一・布尾勝一郎・羽澤志穂 (2009) 「EPA によるインドネシア看護師・介護福祉士候補者受入研修の現状と課題(2)—研修デザインという視点から—」『2009 年度日本語教育学会秋季大会予稿集』pp. 129-134
- ・小原寿美・大場美和子 (2012) 「介護演習で使用された日本語の特徴の分析—「介護技術講習会」における EPA 介護福祉士候補者の談話データをもとに—」『2012 年度日本語教育学会春季大会予稿集』pp. 205-210
- ・齊藤真美・中川健司・角南北斗・布尾勝一郎 (2013) 「EPA 介護福祉士候補者学習支援で求められるもの—実践報告および今後の課題—」『2013 年度日本語教育学会春季大会予稿集』pp. 251-256
- ・辻和子・小島美奈子・高田薫 (2010) 「2009 年度日本・インドネシア経済連携協定に基づく看護師・介護福祉士候補者に対する事前研修における日本語研修実施報告—看護・介護の職場に立つ人材に必要なコミュニケーション力構築の試み—」『日本語教育方法研究会誌』Vol. 17 No. 2 pp. 4-5

- ・中川健司・角南北斗・齊藤真美・布尾勝一郎 (2013) 「自律学習に向けた漢字語彙学習ウェブサイト『介護の漢字サポーター インドネシア語版』『2013年度日本語教育学会春季大会予稿集』 pp. 409-410
- ・中川健司・中村英三・角南北斗・齊藤真美・布尾勝一郎・宮本秀樹・山岸周作 (2013) 「漢字学習ウェブサイト『介護の漢字サポーター』開発過程で直面した課題」『第37回日本語教育方法研究会誌』 pp. 4-5
- ・日本語教育学会 看護と介護のワーキンググループ(2009) 「EPAによる外国人看護師・介護福祉士候補者の受け入れと日本語—国家試験に関連した動きと展望—」『2009年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 43-54
- ・日本語教育学会 看護と介護のワーキンググループ (2010) 「外国人介護福祉士の受け入れ—ポストEPAの展望と日本語教育—」『2010年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 pp. 19-30
- ・布尾勝一郎 (2011) 「インドネシア人EPA看護師・介護福祉士候補者日本語研修の取り組み—バンドンにおける研修を中心に—」『2010年度日本語教育学会春季大会予稿集』 pp. 297-298
- ・野村愛 (2013) 「介護福祉士候補者に対する日本語教育の制度的課題」『2013年度日本語教育学会春季大会予稿集』 pp. 239-244
- ・野村愛・秋山佳世 (2013) 「EPA介護福祉士候補者に対する1年目学習支援から明らかになった課題—特殊性、多様性を踏まえた個別支援—」『2013年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 pp. 403-404
- ・野村愛・川村よし子 (2009) 「介護現場での実態調査を基にした介護語彙リスト作成」『2009年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 pp. 123-128
- ・野村愛・川村よし子 (2010) 「外国人介護士のための日本語読解学習支援システムの開発と評価」『2010年度日本語教育学会春季大会予稿集』 pp. 294-299
- ・羽澤志穂・神吉宇一・布尾勝一郎 (2009) 「EPAによるインドネシア看護師・介護福祉士候補者受け入れ研修の現状と課題」『2009年度日本語教育学会春季大会予稿集』 pp. 182-186
- ・三橋麻子・丸山真貴子 (2012) 「EPA介護福祉士候補者への学習支援と支援体制—今後の連携・ネットワーク作りを目指して—」『2012年度日本語教育学会春季大会予稿集』 pp. 217-222
- ・丸山真貴子・三橋麻子 (2013b) 「外国人介護福祉士にとっての次なる課題—アンケート・インタビュー調査結果からの教材作成の試みと学習法—」『2013年度日本語教育学会春季大会予稿集』 pp. 257-262
- ・宮崎里司・中野玲子・早川直子 (2011) 「外国人介護従事者の日本語能力測定のバンドスケールの開発について」『2010年度日本語教育学会春季大会予稿集』 pp. 293-294
- ・山崎イチ子 (2010) 「ポストEPAの展望と日本語教育—インドネシア人介護福祉士の受け入れ条項と今後の課題—」『2010年度日本語教育学会春季大会予稿集』 pp. 19-22

IV 教材

- ・『インドネシア人看護師・介護福祉士 人材マネジメント手引き』2008年8月 540円 社団法人国際厚生事業団
- ・『外国人のための看護・介護用語集 日本語でケアナビ(英語版)』2009年1月 2,268円 凡人社
- ・『介護スタッフのための声かけ表現集』2009年3月 凡人社 2,052円
- ・『介護の言葉と漢字ハンドブックインドネシア語版』2010年1月 2,160円／『介護の言葉と漢字ハンドブック英語版』2010年1月 2,160円／『介護の言葉と漢字ワークブック』2009年6月 1,620円／『介護の言葉と漢字ワークブック言葉の使い方ドリル』2010年7月 1,080円／『介護の言葉と漢字ワークブック毎日の漢字テストインドネシア語版』2010年7月 864円／『介護の言葉と漢字ワークブック毎日の漢字テスト英語版』2010年7月 1,080円／『看護・介護の言葉と漢字ワークブックやさしい漢字とカタカナ語』2009年12月 1,620円 日本語指導グループY編 社団法人国際厚生事業団
- ・『介護の日本語』2005年3月 日本フィリピンボランティア協会 2,700円
- ・『介護導入研修について(日英版) Introduction to "Kaigo"』2009年9月 2,160円 社団法人国際厚生事業団
- ・『専門日本語入門 場面から学ぶ介護の日本語【本冊】』2010年12月 3,564円／『専門日本語入門 場面から学ぶ介護の日本語【教師用手引き】』2011年4月 3,564円 海外産業人材育成協会(HIDA)(旧海外技術者研修協会(AOTS))凡人社
- ・『専門日本語入門～介護篇～ことばノート』2009年3月 972円／『専門日本語入門～介護篇～本冊』2009年4月 2,376円／『専門日本語入門～介護篇～CD』2009年4月 1,296円／『専門日本語入門～介護篇～翻訳ノート(インドネシア語版)』2009年4月 1,836円／『専門日本語入門～介護篇～翻訳ノート(英語版)』2009年5月 1,404円 (財)海外技術者研修協会

*本リストは外国人介護福祉士に対する日本語教育の研究・調査・教材のすべてを網羅するものではありません。口頭発表は予稿集などの公開印刷物が存在しないものは掲載しなかったほか、技能実習生は国家試験受験が想定されていないので、国家試験関係の研究・教材なども除外しました。